

国立大学法人大分大学グローバル感染症研究部門教員公募要領

1. 募集人員

教授、准教授または講師 1名

2. 所属部門

グローバル感染症研究部門

3. 担当部局等

クライシスマネジメント機構

グローバル感染症研究センター（専任）

減災・復興デザイン教育研究センター（兼担）

4. 専門分野

クライシスマネジメント分野（感染症疫学、感染制御学、数理疫学の領域）

5. 機関の説明

クライシスマネジメント機構（CMO）

想定を超えたクライシス（危機）が多発する状況の中で、大分大学では令和4年度に危機管理に関連する減災・復興デザイン教育研究センター、グローバル感染症研究センター、医学部附属病院災害対策室、福祉健康科学部や教員を組織化し、クライシスマネジメント機構を設置しました。本機構は、大学の研究リソースを行政や産業界、地域社会と緊密に連携させて、災害や感染症などが複合したマルチハザードに対応したデータ駆動型クライシスマネジメント機能の構築を目指します。

グローバル感染症研究センター（RCGLID）

感染症に関する全学的な研究力強化を戦略的に推進する体制として、令和3年度に、本学初となる全国共同利用研究施設として設置されました。本センターには、4つの研究部門を設置し、本学の国際的な感染症研究に従事する教員及び本学に蓄積された研究成果等を集結させたいと、先進的な感染症に関する研究を推進するとともに、医学部関連講座とも連携し、新薬の開発なども積極的に展開しています。特に、海外フィールドを活用したグローバルな視点からの微生物ゲノム解析を研究領域としている点や、創薬までを含めた臨床と基礎研究を併せて遂行できる点が本センターの特色です。

減災・復興デザイン教育研究センター（CERD）

大分大学クライシスマネジメント機構の構成機関の一つであり、大分県内の土砂災害を中心とした災害調査をはじめとし、行政や地域社会と協力したデータ連携のもと、過去の災害や身近な災害リスクを共有し、より安全な行動やコミュニティのあり方を共に考える防災・減災教育、事前の備えとして求められる社会システムとしての事前復興・復興デザインなどの調査・研究を学際的に進めています。

6. 業務内容

クライシス管理分野(実務家・全体統括)

クライシス管理分野担当教員は、平時における公衆衛生学や感染症管理の視点から防疫対策の実務や研究に従事した経験があり、その経験を活かして自然災害等の健康危機管理に対応する組織について考察できる人材をイメージしています。大学における教育・研究・社会貢献の役割を果たし、中でも人材の教育・養成や研究成果を実社会に還元し、将来の大分県における感染管理・制御を自治体と連携して担っていただけることを重視します。またクライシス管理分野の機能として、データを利用する研究者に繋ぐ(研究者-データを繋ぐコミュニケーション)だけでなく、クライシスマネジメント機構を構成する防災・減災、医療福祉、防疫の3つの異なる領域の研究者を繋ぐコミュニケーションと、それぞれが保有する異なる領域のデータを俯瞰して紐解くコミュニケーションの2つの側面も期待しています。関連分野の全学共通科目等の講義も担当してもらう予定です。

7. 応募資格

- (1) 博士の学位を保有すること、またはこれと同等の研究業績を有すると認められること
- (2) 複数の組織(国内外の異なる大学、講座、組織等規模は問わず)を跨いだ調整・教育・研究業務に従事した経験を有すること
- (3) 社会活動としての感染症対策や感染管理に積極的に従事する意志があること
- (4) 本学の運営・改革方針に則り、かつRCGLID、CMOおよびCERDの役割を理解し、大学改革、活性化に積極的に関与できること
- (5) 医療関係の資格を有することが望ましい
- (6) 日本語を母国語としない場合は、十分な日本語運用能力を有すること

8. 勤務条件・給与

国立大学法人大分大学職員就業規則等の学内規程による。下記URLを参照してください。
給与体系は国立大学法人大分大学2号年俸制適用教員給与規程を適用します。

https://www.oita-u.ac.jp/13joho/kitei_syugyokisoku.html

9. 採用予定日

令和6年(2024年)10月1日以降できるだけ早い時期

10. 勤務形態・任期

常勤・任期5年(更新の可能性有り、最大10年)

1.1. 応募書類

必要書類	提出部数
①推薦書（別紙様式 I）	1 部
②履歴書（別紙様式 II）	1 部
③業績目録（別紙様式 III-1）	1 部
④主要な原著等の別刷（学位論文を含む。）及びその概要（各 200 字以内：別添様式）	教授 10 編以内 准教授 8 編以内 講師 5 編以内
⑤科学研究費助成事業等の競争的研究助成金の取得状況（別添様式）	1 部
⑥教育・研究の概要（1, 200 字程度：A4 判様式適宜）	1 部
⑦教育評価に関する書類（A4 判様式適宜）	1 部
⑧グローバル感染症研究センターに採用された場合の抱負（1, 200 字程度：A4 判様式適宜）	1 部

①を除く上記書類の電子ファイル（ワードあるいはエクセル、④は PDF ファイル）を電子媒体（CD、DVD あるいは USB メモリ）に保存し、紙媒体の書類と共に送付してください。

1.2. 選考方法

書類選考の上、書類選考通過者に対して面接及びプレゼンテーション審査を行います。面接等の日時については対象者に連絡いたします。

なお、面接等の際の旅費は支給しません。

1.3. 応募締切日

令和 6 年（2024 年）8 月 30 日（金）必着

1.4. 書類提出先・問い合わせ先

〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

国立大学法人大分大学グローバル感染症研究センター総務係

(TEL 097-586-5409 E-mail glocal@oita-u.ac.jp)

※ なお、問い合わせについては、メールのみの受付とします。

(注 1) 提出書類の様式については、下記 URL からダウンロードしてください。

<https://www.oita-glocal.jp/>

(注 2) 応募にあたっては、封筒の表に「大分大学グローバル感染症研究部門教員応募書類在中」と朱書きし、書留郵便等、配達記録が残る方法で送付してください。

(注 3) 選考の過程で必要な書類の別途提出をお願いすることがあります。

(注 4) 大分大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則

り、業績評価等の審査結果について同等と認められた場合には、女性を優先的に選考します。

(注5) 本学では、敷地内全面禁煙を実施しています。また、健康増進法第25条の規定及び国立大学
法人大分大学職員の受動喫煙の防止等に関する規程の趣旨を踏まえ、非喫煙者を優先して選考し
ます。なお、喫煙者を採用した場合、本学は当該採用された教員に対し、産業医による禁煙指導
を行います。

(注6) 応募書類に含まれる個人情報は国立大学法人大分大学の定めに従い、本人事選考にのみ使用し、
他の目的には一切使用しません。

(注7) 著書、論文、報告書等の別刷り以外の応募書類は返却しませんので、予め了承ください。

【参考】 大分大学グローバル感染症研究センター <https://www.oita-glocal.jp/index.html>
大分大学クライシスマネジメント機構 <https://www.cmo.oita-u.ac.jp/>
大分大学減災・復興デザイン教育研究センター <https://www.cerd.oita-u.ac.jp/>